

# 中小企業 いばらき

2019  
DECEMBER  
No.734

# 12

【クローズアップ】

## 第71回中小企業団体全国大会



写真：第71回中小企業団体全国大会（鹿児島アリーナ）



発行所・編集発行人：

茨城県中小企業団体中央会

<http://www.ibarakiken.or.jp>

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 TEL.029-224-8030

### CONTENTS

- クローズアップ ..... 1
- ニュースフラッシュ ..... 8
- インフォメーション ..... 13
- 経済・労働リサーチ ..... 15
- 業況リポート ..... 16
- 中央会だより ..... 18

事業者向けカードローン

クイックジェイ  
**QUICK J**

急な事業資金が必要な時にとっても便利!

法人・  
個人事業主の  
皆様を応援!!

必要な時に

必要な額を

銀行  
コンビニ **ATM OK!**



お問い合わせは

常陽 クイック  
ビジネスセンター



**0120-310-863**

【受付時間】平日9:00~17:00  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

常陽銀行 クイックJ



インターネットでも簡単にお申込みができます

## 表紙の紹介

### 『第71回中小企業団体全国大会』

主催 全国中小企業団体中央会、鹿児島県中小企業団体中央会

11月7日、鹿児島県鹿児島市の鹿児島アリーナにおいて「第71回中小企業団体全国大会」が開催され、全国から約3,000名の中小企業組合の代表者らが参加した。

全国大会は、全国の中小企業団体の代表者らが会し、その決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、組合組織を基盤にして中小企業の安定的な振興発展をめざすことを目的として開催されている。

全国大会に提出する議案(要望事項)は、全国中小企業団体中央会に設置された総合、金融、税制、労働、商業、サービス業、工業、環境・エネルギーの各分野別の専門委員会において、その時々の中小企業者の要望等を中心に取りまとめられている。

そのため、全国大会は、中小企業者や中小企業組合の総意を取りまとめ、その実現に向けて取り組むことを決議する絶好の場となっている。

例年、全国大会では、全国各地から訪れる参加者のために観光物産展なども開催されているが、今回は物産・飲食コーナーが設けられ、鹿児島県産の菓

子や酒、サツマイモなどが展示即売されたほか、奄美大島の「奄美鶏飯」が振る舞われた。

また、サブアリーナでは併催企画の「令和元年 九州・沖縄ものづくり展」が開催され、鹿児島県をはじめとして九州・沖縄各県から62社が出展し、ものづくり補助金を活用して開発した技術・試作品等の成果事例発表と商談会が行われた。

なお、本会では、大会参加と観光等を盛り込んだ「茨城県中央会 九州縦断 鹿児島大会ツアー」を企画。阿部会長はじめ29名が参加して親睦を深め合った。

大会の概要等は「クローズアップ(1ページから7ページ)」をご覧ください。



併催企画の九州・沖縄ものづくり展

## 第71回中小企業団体全国大会

11月7日、鹿児島県鹿児島市の鹿児島アリーナにおいて「第71回中小企業団体全国大会」が開催され、全国から約3,000名の中小企業組合の代表者が参加（本県からは44名が参加）しました。

大会は、「新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来 ～時空を超えて 舞台は鹿児島から～」をテーマに掲げ、中小企業・小規模事業者の生産性向上支援等の強化、自然災害に対する施策の拡充などを柱とする26項目の要望事項を採択しました。

本号では、大会の概要やその内容、採択された要望事項などを紹介します。

### I 第71回中小企業団体全国大会の概要



#### 1. 開催の目的

我が国経済は、緩やかな景気回復が続いているが、輸出や生産の一部に弱さがみられ、地域の事業者の規模によって景況感のばらつきがあるなど、中小企業の多くはその実感を得られていない。加えて、中国経済の減速、米中貿易摩擦等により先行きの不透明感も増している。中小企業を取り巻く環境は、深刻化する人手不足や事業承継問題、消費増税と複数税率の対応、そして毎年のように頻発する自然災害など、一層厳しさを増している。

こうした中、5月に皇位継承が行われ、また9月にラグビーワールドカップ、そして来年の東京オリンピック・パラリンピックなど新たな需要拡大が期待されている。

地域の雇用を支える中小企業には、生産性の向上が求められているが、個々の経営努力だけでなく、連携組織の下に個々の力を結集し、新たな課題に対応することが重要である。

「令和」の時代を迎え、全国中小企業団体中央会と都道府県中小企業団体中央会は、「つながる ひろげる 連携の架け橋」を共通のスローガンに掲げ、会員の皆さまに対して提案型・伴走型の支援を展開していく。

中小企業団体全国大会は、中小企業者で組織する全国約3万組合等の総意を内外に広く表明するとともに、政府等に中小企業の実情と振興施策を訴え、中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的として、次のテーマを掲げ開催するものである。

### 〈第71回中小企業団体全国大会のテーマ〉

新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来  
～時空を超えて 舞台は鹿児島から～

#### 2. 主催

- 全国中小企業団体中央会
- 鹿児島県中小企業団体中央会

#### 3. 後援及び協賛

- 後援  
経済産業省、総務省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、九州経済産業局、鹿児島県、鹿児島市、九州中小企業団体中央会連合会
- 協賛  
㈱商工組合中央金庫、㈱日本政策金融公庫、(独)中小企業基盤整備機構、(独)勤労者退職金共済機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、(公財)全国中小企業振興機関協会、(一社)全国信用保証協会連合会、(有)工又・エス・エイサービス

#### 4. 大会プログラム

##### ◇アトラクション

- 1 開会
- 2 国歌斉唱、団体歌斉唱
- 3 開会挨拶
- 4 開催地会長挨拶
- 5 歓迎挨拶
- 6 来賓紹介
- 7 来賓祝辞
- 8 議長・副議長選任
- 9 議事  
(1)決議経過報告 (2)議案上程  
(3)意見発表 (4)議案採決

##### 10 大会宣言

##### 11 政党代表挨拶

##### ◇休憩・ミニステージ

- 12 表彰式
- 13 次期開催地発表
- 14 大会旗継承
- 15 次期開催地会長挨拶
- 16 万歳三唱
- 17 閉会

## II 第71回中小企業団体全国大会の内容

### 1. アトラクション



霧島九面太鼓



薩摩琵琶

### 2. 開会挨拶

開会挨拶(主催者挨拶)では、森洋全国中央会会長が「中小企業・小規模事業者の景況は、深刻な人手不足と10月から引上げられた消費税への対応に加え、働き方改革への対応、最低賃金の引上げ等の課題が山積し、景気回復の恩恵を依然として実感できる状況には至っていない。そうした中で、全国中央会では「つながる ひろげる 連携の架け橋」のスローガンのもと、企業同士、組合同士の「つながる力」を一層強化し、生産性向上に向けた支援を積極的に展開して行く所存である。今年は中小企業等協同組合法施行70周年の節目の年となっている



開会挨拶を行う森全国中央会会長

が、参加された皆さまには今大会を契機に全国2万8千の会員組合との強い絆と連携を再確認され、大会決議の実現に向けた原動力となられるようお願いしたい」と述べた。

### 3. 開催地会長挨拶

開催地会長挨拶では、小正芳史鹿児島県中央会会長が、「鹿児島での開催は、昭和57年以来2度目となる。今回のテーマは「新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来」としているが、「令和」が地域経済の屋台骨である中小・小規模事業者にとって夢と希望に満ち溢れた時代となるためには、個々の自助努力に加えて、中小企業組合等連携組織の円滑な活用が極めて重要。今大会を機に全国の中小企業組合等が組織力や連携組織を一層強固にしていくことで、持続的な成長や地域社会が想像されるよう期待する。また、時間の許す限り鹿児島の魅力を満喫して欲しい」と述べた。



開催地挨拶を行う小正鹿児島県中央会会長

### 4. 歓迎挨拶、来賓祝辞

三反園訓鹿児島県知事と森博幸鹿児島市長が歓迎の挨拶を行い、来賓紹介の後、代表して中野洋昌経済産業大臣政務官、土屋喜久厚生労働審議官、道野英司農林水産省大臣官房審議官、関根正裕商工中金代表取締役社長、森義久全国商工会連合会会長が祝辞を述べた。

#### 〈歓迎挨拶〉



三反園鹿児島県知事



森鹿児島市長

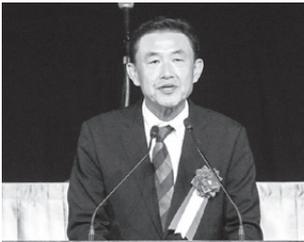
## 〈来賓祝辞〉



中野経済産業大臣政務官



土屋厚生労働審議官



道野農林水産省大臣官房審議官



関根商工中金代表取締役社長



森全国商工会連合会会長

## 5. 議事、決議経過報告、議案上程、意見発表、議案採決、大会宣言、政党代表挨拶

議事は、小正芳史鹿児島県中央会会長を議長に、阿部真也茨城県中央会会長と島袋武沖縄県中央会会長が副議長となり進行。佐藤哲哉全国中央会専務理事が決議経過報告（前回大会で決議された要望事項の国等への要請活動報告など）を行うとともに本大会での議案（要望事項）を上程した。



議長及び副議長

（左から）阿部茨城県中央会会長、小正鹿児島県中央会会長、島袋沖縄県中央会会長

続いて、平栄三千葉県中央会会長の意見発表の後、「中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充」、「中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対

策の拡充」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など26項目の要望事項の議案採決が行われた。

その後、岩重昌勝鹿児島県中央会副会長が声高らかに大会宣言を宣した。

また、政党代表挨拶では、尾辻秀久自由民主党参議院議員、新妻秀規公明党参議院議員、野田国義立憲民主党参議院議員がそれぞれ挨拶した。



決議経過報告を行う佐藤全国中央会専務理事



意見発表を行う平千葉県中央会会長



大会宣言を宣する岩重鹿児島県中央会副会長

## 6. 表彰式、次期開催地（茨城県）の発表、大会旗継承、万歳三唱

表彰式では、優良組合34組合、組合功労者86名、中央会優秀専従者22名が全国中央会会長表彰を受けた。本県からは、優良組合として茨城県屋外広告美術協同組合（阿久津和次理事長）、組合功労者として阿部義輝氏（茨城県管工事業協同組合連合理事）、栗原秀男氏（協業組合岩井自動車整備センター前理事長）、白川勇氏（協同組合鹿南地区エルピーガス保安センター理事長）が受賞した。

また、次期全国大会開催は、2020年10月22日（土）に茨城県で開催されることが発表され、大会旗が森全国中

央会会長から阿部茨城県中央会会長へ継承された。

阿部会長は「茨城県では初めての全国大会開催となる。関係各所のご支援ご協力を賜りながら開催準備を行い、来年、水戸で皆さまをお迎えしたい」と挨拶した。

その後、豊永厚志中小企業基盤整備機構理事長のかけ声で万歳三唱を行い、閉会した。



優良組合表彰

右から4人目が県屋外広告美術協同組合の阿久津理事長



森全国中央会会長から阿部茨城県中央会会長への大会旗継承



次期開催地挨拶を行う阿部茨城県中央会会長と  
大会旗を持つ吉澤慎一茨城県青年中央会会長

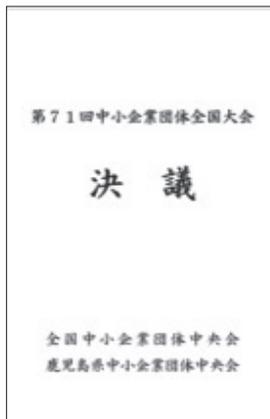


中小企業、中小企業組合の発展を祈念して万歳三唱

### Ⅲ 第71回中小企業団体全国大会で決議された 要望事項

誌面の都合で項目のみの紹介となりますが、決議の全文は、全国中小企業団体中央会のホームページ (<http://www.chuokai.or.jp/>) でご覧いただけます。

#### 第71回中小企業団体全国大会決議



我が国経済は、緩やかに景気回復が続いているとされているが、地域の雇用を支える357万8千の中小企業・小規模事業者の多くは、その実感を得られていない。

中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、深刻化する人手不足、事業承継問題、最低賃金の引上げによる人件費コストの増加、働き方改革への対応と、消費税率引上げ

と複数税率対応、生産性向上の実現に向けた取組みなど、課題が山積している状況にある。そして毎年のように頻発する自然災害等に対する復旧・復興等の被災事業者の負担は大きく、一層厳しさを増している。

加えて、国際情勢では米中の貿易摩擦による受注減少、日韓関係悪化によるインバウンド需要の減少等の影響も相俟って、先行き不透明な状況となっている。

このような状況の中で、中小企業・小規模事業者が直面する多様な課題に前向きに対応していくためには、個々の自助努力だけでは限界があるため、中小企業組合をはじめとする連携組織での取組みが重要になる。

中小企業団体中央会は、全国約3万組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに発揮させて、中小企業・小規模事業者が協同で足らざる経営資源を補完・補強し合えるよう、より一層提案力を高め、伴走型の支援活動を展開することにより、生産性向上等による我が国経済及び中小企業・小規模事業者の力強い成長と発展を支援していく。

国等は、中小企業・小規模事業者の持続的な成長と豊かな地域社会が実現するよう、全国の会員組合等からの意見を踏まえた本決議事項の実現に取り組みたい。

#### 第71回中小企業団体全国大会決議項目

##### I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充

1. 中小企業・小規模事業者の持続的な成長と生産性向上に向けた対策の強化

2. 生産性向上に向けた人材育成の強化
3. 地方創生推進に向けた対策の強化
4. 事業承継・後継者育成等への支援策の拡充と組合支援措置の強化
5. 中小企業組合・中央会に対する支援の拡充

## II. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮
2. 中小企業の人材確保・定着対策
3. 地域の実情を踏まえた最低賃金の設定
4. 外国人技能実習制度の円滑化と拡充
5. 外国人材の受入れ体制の整備
6. 雇用保険制度の見直し
7. 障害者雇用への中小企業支援策の拡充
8. 国による職業訓練機能の拡充・強化
9. 社会保険制度等の整備

## III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充

1. 東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、豪雨災害等に対する復旧・復興の更なる推進
2. 福島復興・創生に向けたきめ細かな対策の実施
3. 地域の防災・減災対策の強化推進

## IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進、中心市街地活性化に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化
7. 官公需対策の強力な推進
8. 海外展開に対する支援の拡充
9. 公正かつ自由な競争の確保

# 大会宣言

## 宣言

本日、中小企業団体の代表三千名は、「新時代の幕開け 団結でひらく組合の未来」時空を超えて舞台は鹿児島から」をテーマに、ここ鹿児島県鹿児島市に集い、約三万の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議した。

中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、深刻化する人手不足、事業承継問題、最低賃金の引上げによる人件費コストの増加、働き方改革への対応、消費税率引上げと複数税率対応など、課題が山積している状況にある。

このような状況の中、中小企業の生産性向上が急務であり、そのためには、個々の自助努力に加えて、中小企業組合をはじめ共同化、協業化、事業統合など企業間の連携強化が重要になる。

我々は、次のスローガンのもと、国等に対して、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 一、生産性向上・ものづくり対策の強化
- 一、消費税対策と事業承継施策の強化
- 一、労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、まちづくりの推進と商業・サービス業対策の拡充
- 一、震災復興、豪雨・風水害等対策の拡充
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充

本日参集した我々一同は、新たな令和の時代を切り拓くべく、積極果敢に行動することを決意する。

右宣言する。

令和元年十一月七日  
第七十一回中小企業団体全国大会

## 第71回中小企業団体全国大会 被表彰者のご紹介（茨城県関係者）

### 優良組合

#### 茨城県屋外広告美術協同組合

理事長 阿久津 和次

設立年月日 昭和37年12月26日

組合員数 54人

専従者数 1人

主な共同事業 共同購買事業  
共同受注事業、共済事業



組合員に対し、屋外広告物の適切な設置の条例・法規の遵守に向けた指導、情報提供を行うとともに、研修会・講習会等を開催し、技術士育成、技術向上を図っている。また、組合員の経営基盤の安定に資するため、平成29年度より共同受注事業を開始、積極的な営業活動を推進し受注機会の確保に取り組むほか、AED誘導サインを共同開発し商標登録する等、組合及び業界の振興発展を図っている。

### 組合功労者

#### 阿部 義輝

茨城県管工事業協同組合連合会  
理事

役員勤続年数 41年

主な共同事業 機器、材料等の  
斡旋  
教育及び情報の提供



昭和34年3月高校卒業と同時に建設事業に身を置き現在まで60年余に亘り活躍。この間地元管工事協同組合理事長、県連合会副会長・全国管工事業協同組合連合会理事等としても歴任し、誠実実直にして堅固な意思と優れた統率力により、健全な組合活動の推進を図るとともに、積極的に建設労働者の雇用に取り組むなど堅実な組合運営基盤の礎を成す等、業界での絶対的な信頼を得ている。

### 組合功労者合

#### 栗原 秀男

業組合岩井自動車整備センター  
前理事長

役員勤続年数 34年

主な共同事業 定期点検整備事業  
保険代理店業務



昭和48年より15年に亘り理事、平成12年からは理事長に就任。卓越したリーダーシップをもって、組合役職員一丸となった事業運営を推進。地域ユーザーの幅広いニーズに対応できるよう整備技術・サービスの向上に努めるとともに、青年部など若手の経営参加を積極的に推進し、後継者・青年部の育成、執行部の世代交代を図り、生産性の向上、組合運営基盤の強化・活性化に貢献。

### 組合功労者

#### 白川 勇

協同組合鹿南地区エルピーガス  
保安センター 理事長

役員勤続年数 33年

主な共同事業 調査点検事業  
教育及び情報の  
提供



昭和61年の組合設立時より理事、平成8年からは理事長に就任。関係法令を遵守し正確・確実な点検調査業務の実施の徹底を図るとともに、消費者への保安啓発運動を推進し、地域の安全・安心な生活の確保と、組合員の円滑な事業の推進に貢献。平成22年度より、上部組織である（一社）茨城県高圧ガス保安協会の副会長に就任、業界の自主保安体制の確立と健全な振興発展に寄与。

## 次回の「第72回中小企業団体全国大会」は、茨城県水戸市で開催します

開催日時 令和2年（2020年）10月22日（木） 14:00～17:00

開催場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター）

水戸市千波町東久保697

主催 全国中小企業団体中央会 茨城県中小企業団体中央会

参加者数 約1,900名

いばらきの魅力を発信する観光物産展なども開催予定です。“いばらき”ならではの「おもてなし」で全国の皆さまをお迎えし、いばらきの魅力を発信しましょう。



# 茨城県中央会 九州縦断 鹿児島大会ツアー

大会参加と名所を巡り、参加者同士の交流を深める

茨城県中小企業団体中央会

中央会では、第71回中小企業団体全国大会の開催にあわせ、11月6日から8日までの3日間、「茨城県中央会 九州縦断 鹿児島大会ツアー」を開催しました。

阿部会長をはじめ29人が参加し、大会参加と名所を巡り、参加者同士の交流を深めることができましたので、その様子を紹介します。

## 【1日目 11月6日】

茨城空港に集合し、午前7時35分発のSKY831便で福岡空港へ。福岡空港到着後は、貸切バスで移動し、「学問・至誠・厄除けの神様」として知られる大宰府天満宮を参詣。



茨城空港での結団式

昼食は、市内の「割烹よし田」で『鯛茶漬け』に舌鼓をうった。

その後、北九州市の門司港レトロ地区を散策し、宿泊先の福岡市内のホテルへ。夕食は、福岡の炭鉱王

であった中島徳松氏の持ち家を料理店に改装したという「稚加榮」にて『地元料理』を堪能。また、自己紹介を行うなどして参加者同士の交流を深めた。



大宰府天満宮



門司港レトロ地区

## 【2日目 11月7日】

ホテルからタクシーで博多駅に移動。9時54分発のさくら545号で鹿児島中央駅へ。車中での昼食をはじめとして、約90分の新幹線の旅では、前夜の「稚加榮」での交流の効果もあって、参加者同士の談笑する姿が各所に見られた。



桜島を背に記念撮影 仙巖園にて

鹿児島中央駅には11時29分に到着。一旦、貸切バスにて仙巖園・尚古集館へ。第19代当主の島津光久によって造園された庭園で、桜島を築山に、鹿児島湾を池に見立てた借景技法は絶景。国の名勝にも指定されている。ここでは全員で記念撮影。

次いで、鹿児島アリーナに移動し、全国大会に参加した。（全国大会の様子は、1～6ページをご覧ください。）

大会終了後は、霧島市の天降川温泉のホテルへ。長旅の疲れを温泉で癒やすとともに、懇親交流会ではさらに交流を深め、次回の茨城大会に向けた準備等の話題に花を咲かせた。



挨拶する全国大会実行委員会の溝口委員長

## 【3日目 11月8日】

8時30分にホテルを発ち、貸切バスにて福岡空港へ。道中、阿蘇山（草千里・中岳）、熊本城などを訪ねた。

阿蘇は典型的な二重式の火山。阿蘇山といえば阿蘇五岳を中心にした中央部の山々を呼ぶことが多いものの、



噴煙を立ち上げる中岳

広い意味では外輪山や火口原をも含めた呼び名となっている。中岳の火口は現在も噴煙を上げ続け、時々噴火する活火山。この日も噴煙が立ち上がり、改めて自然の威力を感じた。

昼食は、熊本市内の菅乃屋上通店にての馬肉料理。一説によれば、加藤清正公が朝鮮出兵した際に兵糧攻めにあい、飢餓を凌ぐために馬肉を食べたことが始まりと言われている。

最後に、復旧工事中の熊本城へ。熊本のシンボルともいえる同城は、2016年4月の2回にわたる地震で被災。この10月から一部特別公開となったが、全員で早期復旧を祈った。



復旧工事が進む熊本城

福岡空港に着いた一行は、18時40分発のSKY836便で茨城空港へ。20時10分に、無事、帰郷した。

第71回中小企業団体全国大会並びに本会主催の鹿児島大会ツアーに多数の皆さまにご参加をいただき、誠にありがとうございました。

次回は、茨城県水戸市での開催となります。引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします